

燃料電池ごみ収集車の試験的利用について

1. 概要

脱炭素社会の実現に向けては、二酸化炭素を排出しない化石燃料以外の燃料を使用する車両への転換が求められている中、東京都の支援により水素を燃料とするごみ収集車を試験的に導入する。

試験利用により、運搬部門の脱炭素化や清掃事業における作業環境や生活環境の向上の効果を検証する。

2. 東京都の事業名

ステップアップ型導入支援事業

3. 内容

- (1) 支援台数 メーカー実証車 1 台
- (2) 支援内容 都が車両関係の費用(本体・架装、税・保険、メンテナンス、消耗品交換費)を負担(一部メーカー)
区は運用費用(人件費、燃料費、業務関係消耗品代)を負担
- (3) 期 間 令和 6 年 3 月から令和 7 年 8 月までの期間
- (4) 保管場所 千代田清掃事務所飯田橋車庫
- (5) 水素 ST イワタニ芝公園水素ステーション(港区)
- (6) 検証内容
 - ① 車両サイズや積載量を踏まえた収集・運搬ルートを選定し運用
 - ② 収集・運搬作業上の使い勝手や水素 ST の利用勝手等の課題を整理
 - ③ CO2 排出量の削減量などについても検証する

燃料電池 ごみ収集車

水素で街も空気もきれいに



水素エネルギー

走る＋使う ⇒ 働くクルマ

水素で
走る

水素で
ゴミ収集

静かに
働く



発電



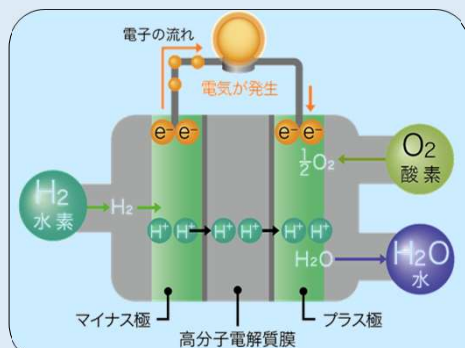
使う

車両	全長×全幅×全高	6,480mm×2,180mm×2,280mm
	最大積載量	1,950kg
モーター	最高出力／最大トルク	108.6kW／300Nm
水素タンク	最大水素量／圧力	10.5kg-H ₂ ／70MPa
航続距離		約170km（走り方による）
塵芥装置	積込装置／排出方法	回転板式／ダンプ式
	荷箱容積	6.1m ³

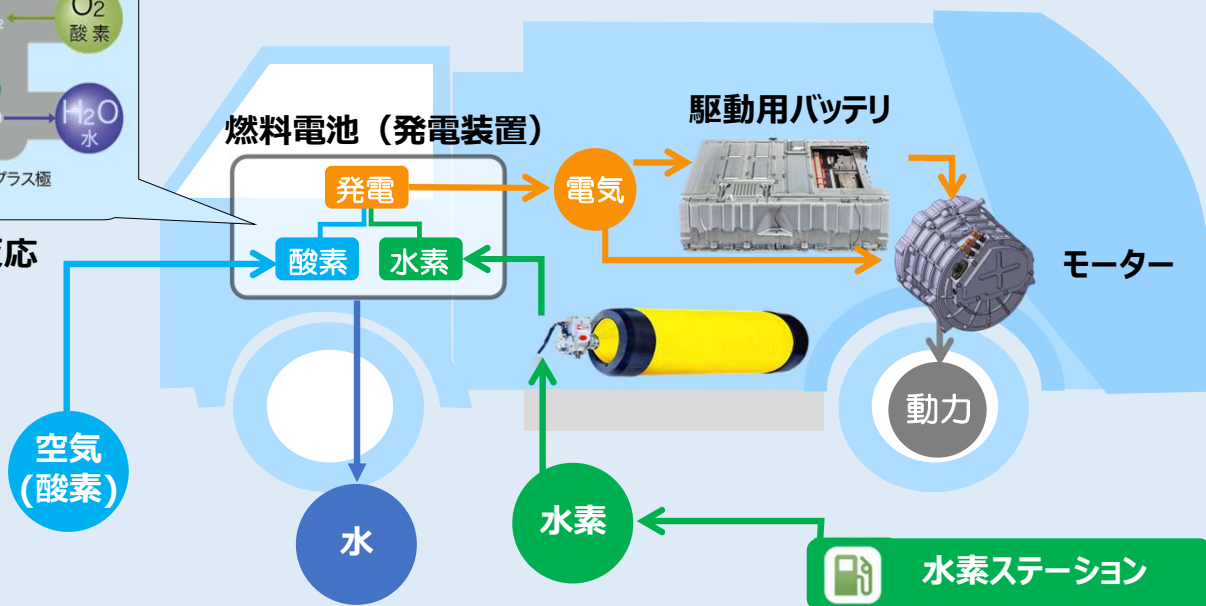
CJPT

新エネルギー車 動力を作り出す仕組み

FCEV(燃料電池自動車)

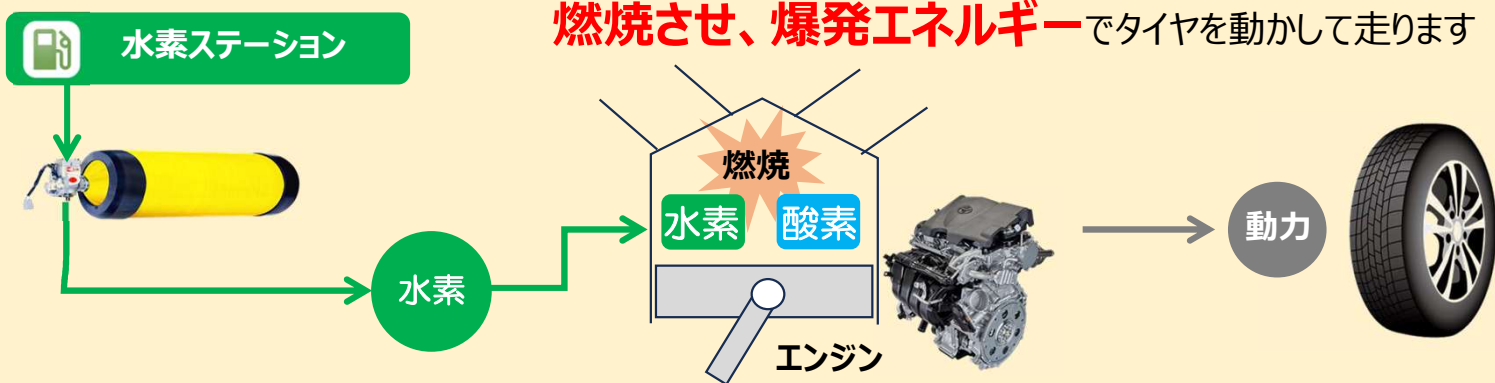


水素と酸素を「燃料電池（Fuel Cell）」に取り込み
化学反応で発電し、その**電気**でモーターを回して走ります



水素エンジン

水素と酸素をエンジン内部で
燃焼させ、爆発エネルギーでタイヤを動かして走ります



BEV(電気自動車)

充電で電気をバッテリーに貯めておき
その電気でモーターを回して走ります

